2026年度　フレッシュナースニュースvol.10

OSCE

2026.11.5-12

新卒者のうち希望者がOSCEを受講しました。模擬患者に対し、「車椅子への移乗・移送」「酸素療法」「口腔・鼻腔吸引」の演習を行いました。





検査室へ患者を迎えに行く場面では、フルネームを名乗ってもらう、リストバンドを確認するなど、確実な患者確認を行っていました。

車椅子移乗では、酸素チューブの長さ・位置に注意しながら、患者の苦痛が最小限になる方法を考えて介助を行っていました。



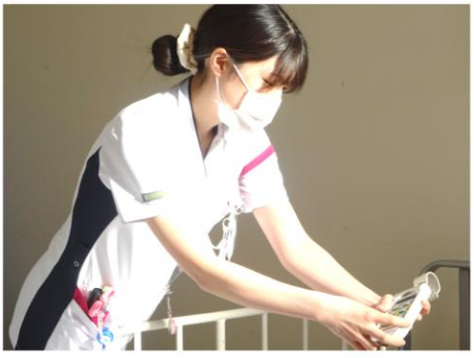
呼吸音や酸素飽和度の観察だけではなく、患者自身で痰が出せそうかアセスメントした上で、吸引の必要性を判断していました。





呼吸状態や患者の状態など、こまめに観察しながら吸引しました。
PPE着脱では、感染対策に留意しながら行いました。







患者が過ごしやすくなるよう、環境整備も行いました。

演習後は、評価者と患者役と共に振り返りをしました。

参加者の声

自分の患者さんとの関わり方や技術を振り返る機会となり、
できているところと強化したいところが明確になった。
患者役からフィードバックをもらい、こまめな声掛けが
患者さんの安心感につながっていることを実感できた。